



<COPY>

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 260

Governor's Monthly Letter

No. 11 15. APR. '80
第11信
昭和55年4月15日

GOVERNOR TAMOTSU KAWASE
Office: 7th Fl., Daiei Bldg., 1-11-20, Nishiki, Naka-ku, Nagoya, Japan 460 Tel.(052)211-4415
国際ロータリー第260地区 ガバナー 川瀬 保
事務所 〒460 名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル7階 電話(052) 211-4415



“Let Service Light The Way”

奉仕の^ひ灯で道を照らそう



第260地区各ロータリークラブ会長、幹事殿

★I.G.F.の季節

The season for Intercity General Forums



3月20日開催、東北信分区I.G.F.(ホスト：上田R.C.)

公式訪問終了に対する R.I.謝辞

*The letter of thanks from
R.I. for the conclusion of
Official Visits*



第260地区ガバナー
川 瀬 保 殿

拝 呈

このほど、地区内全クラブへの公式訪問を完了され、さぞご満足の事と心からお喜び申し上げます。公式訪問の報告書は、全部、拝受いたしました。これ等が非常に役立つものとなりましたことをお伝え申し上げます。あなたが個々クラブの活動およびその運営について極めて注意深く検討し、評価しておられますことは明白であり、それを簡潔にご報告下さいました事に厚くお礼申し上げます。

ご訪問の結果、あなたは地区の実情、指導者の力量、また各クラブごとの抱括的活動に対する会員の熱意などの与える影響について十分お気付きになられた事と存じます。クラブ訪問のメモ、又、クラブ計画並びに目標の要約は、あなたが貴年度の残りの期間を通じ、絶えずクラブに適切な助言を与えられるよう、各クラブの長所・短所をお知らせする役目を果すものとなるのであります。従って、これらの報告書には時々目を通され、クラブ役員に追加援助を与えられる際の基準としてご利用下さい。

末筆ながら貴年度のご成功をお祈りいたしております。

敬 具

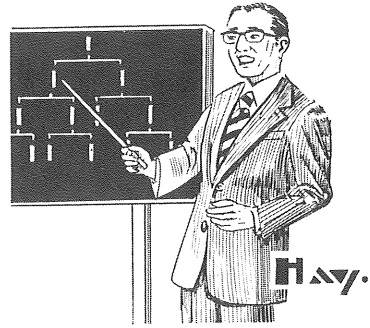
A handwritten signature in dark ink, appearing to read 'J. Nukenta'. The signature is fluid and stylized, with a large initial 'J' and a long, sweeping underline.

奉仕課 抽 冬 忠

I.G.F.所感

My thoughts on I.G.F.

第260地区ガバナー
川瀬 保



ロータリー用語は判りにくいが多いが、I.G.F.は中でも“右総代”みたいなものだと思う。

試みに、Forumという字を字引で引いてみると、“古代ローマで行なわれた討議の方式。司会者の指導の下に1人又は数人が演説を行い、聴衆がこれに対して質問するというようにして論議を進めていくやり方”とある。

また、“ロータリー問答”によると、“I.G.F.はガバナーが計画し、フォーラム・リーダーによって司会され、参加クラブの全会員、特に新会員の出席と討論参加が望まれる。目的はロータリーの情報教育にあり、自由討論で意見を交換し、ロータリーの知識を深め、知合いを広め、以てロータリー精神を徹底すると共に友情を温める場である”とある。

以上を私なりに要約すれば、I.G.F.とは新入会員その他比較的新しい人たちに重点をおいた勉強会である。ここでは、必ずしも結論を出す必要はない。意見がくい違っても構わない。大事なことは、みんなが“何が問題か”といった問題意識をもつことである。

ポール・ハリスも言ったように、ロータリーは世の中の変遷と共に変わっていかなければならない。ロータリーはいつも問題をかかえている。問題のない所に進歩はない。

問題のありかが判れば、あとは自分たち、自分のクラブで討議を重ね、進め方、あり方を求めていけばよい。手続要覧第7頁に“ロータリーの管理を基礎づける根本原則は、加盟ロータリークラブの実質的な自治にある。”

と明示されている。問題をつかみ、その方向づけを自分たちでやっていくためには、I.G.F.は誠に恰好の機会提供というべきであろう。

I.G.F.のもち方は色々である。日本23地区の中でも、ガバナー同志で話しあってみると全く色々で、中にはガバナーが全く出席しないといった例もある。

わが地区に於ては、本年度については私は地区内7分区の分区代理さんにすべてご一任という形をとった。それは、各分区共何分にもベテラン揃いだから分区代理を中心として夫々の土地柄にふさわしいI.G.F.を企画していただくのが一番よいと考えたからである。

結果は(手前みそながら)成功だったと思う。分区によっては、本会議場と分科会議場とを別々に設営することが出来なかったのもあるが、然し大ホールで全員一緒に分科会を行うのもなかなか味があり、どちらがよいとも言い切れない……といった有力意見もあった。

何れにしても、会議の内容、もり上り、充実ぶり等に於ては、どの分区も満点に近いものだったと喜んでいる。これは何もガバナーの自画自讃ではなく、特別出席をお願いしたパストガバナーの皆様からも、一様におほめのご講評をいただいたことは、ご参加の皆様が直々お聞き及びの通りである。

終りに、各分区代理さんを始め、各分区のご担当の皆さん、それに色々の事情を押してご参加下さったメンバー各位、さらには特別出席を賜わった皆さん方に対して衷心よりの御礼を申し上げます。

第260地区

I.G.F.報告

*Reports from
each I.G.F.*



尾張第2分区I.G.F.

尾西グリーンプラザで成果をあげる

3月2日(日)、夜来の雨も上り、春のきざしも濃くなった木曽川畔の尾西グリーン・プラザで尾西R.C.のホストで16クラブ、296名の会員のつどう中、川瀬ガバナーを迎え、鈴木分区代理をフォーラムリーダーとして終日盛況裡に充実した討議が繰り広げられた。

アドバイザーとして原、山田パストガバナー、墨、福田、片山元分区代理の助言を戴き、パネリストとしてクラブ奉仕部門に尾西R.C.の石垣庄市君、職業奉仕部門に稲沢R.C.の村瀬彬君、社会奉仕部門に一宮北R.C.の荻本鉄夫君、青少年活動部門に一宮R.C.の野口政一君、国際奉仕部門に犬山R.C.の長谷川信彦君があたられた。



午前中の全体会ではR.I.75周年にあたりロータリーの基本理念についての理解をもう一度明確にするため、各奉仕部門の立場から「ロータリー綱領」に照して各パネリストから明解で示唆に富んだ提言が行われ、午後の部門別会議でその基本理念にもとづいて地域に最も望ましい具体的な活動方法について論じあ

い、各クラブの方針、実践例の報告など、極めて自由な雰囲気の中で討議を進めた。

午後の全体会では部門別会議の成果をパネリストの方々から要領よく報告され、アドバイザーの方々からも中味の充実とプログラム選定が成功のもとであったとの言葉があり、川瀬ガバナーから討議を充実させる努力が随所に見られたこと、フォーラム運営に対する熱意が実ったこと、これを機会に各クラブが気楽に肩の張らない形でロータリー活動を進められたいと講評があり、会員一人一人が感銘深くロータリー精神を確めあって大きな成果を収めてI.G.F.を終了した。

三河第2分区I.G.F.開催さる

日 時 3月9日 9:30~16:30

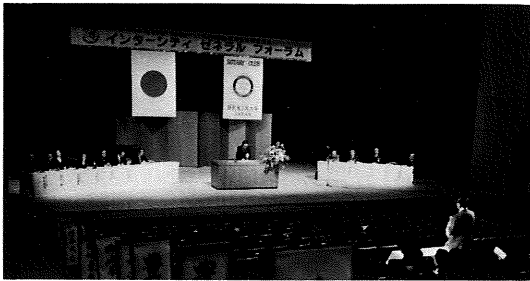
場 所 碧南市文化会館

ホ ス ト 碧南ロータリークラブ

特別出席者 川瀬保ガバナー、滝沢卓夫パストガバナー、佐藤知雄パストガバナー、野々山鏈治三河第2分区代理、渡辺末次郎インターアクト委員長、福山巧地区幹事

折しも小雨そほ降る悪天候にもめげず、当日の出席者は登録受付開始時間よりかなり前からぞくぞくと、新築し未だ1年に満たない立派な会場に参集され、プログラム通り開始された。公共施設にしては珍らしく会議用の小部屋が数多く作られている会場をフルに使い、午前中は会長幹事部門、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門、青少年奉仕部

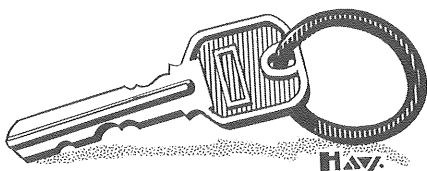
門およびクラブ奉仕部門の6部門に分かれての部門別フォーラムが行われた。野々山フォーラムリーダーのアイディアによって本年度はテーマを特定せず、各クラブのそれぞれ深く過去を反省し、現状を凝視し、将来を考察しようを柱とし、リーダー及びサブリーダー中心とし各部門とも活発な意見発表が行われた。この間休憩時間も含め2時間はまたたく間に過ぎ去った。



昼食後の午後からは会場を千人以上収容の大ホールに全員が集合して、ガバナー挨拶など開会の諸行事のあと合同フォーラムが行われた。1時間半にわたり午前に行われた部門別フォーラムの発表が各部門リーダーによってなされ、各質問も活発に行われ、その助言も適切に意がつくされていた。

アドバイザー、フォーラムリーダーの暖かい講評の後、川瀬ガバナーの総括講評に今回のI.G.F.は前例をみない大成功であり幾多の実績を得たとお褒めの言葉を頂戴し、予定時間通りに閉会した。

この間設けられた友愛の広場に於ける交換風景は、まさにロータリーは友情であるの思いを再認識させられ、午前、午後を通じたフォーラムの内容と共に参加者全員心に残る何かを感じた有意義な一日であった。



東北信分区I.G.F.開催さる!!

R.I.第260地区東北信分区のI.G.F.は、信濃路の春まだ浅い3月20日、上田R.C.（会長田辺寛二郎君）がホストとなり、上田信用金庫本店ホールに、傘下12クラブ、出席者総数220名を集め、分区代理工藤芳夫君主催のもとに開催された。

特別出席者として、第260地区ガバナー川瀬保君、同バストガバナー田辺三郎君、同ガバナーノミニー北野幾造君を迎え、午前9時20分の開会より、部門別協議が熱心に行われた。

本I.G.F.の特徴は、会場を単一とし、部門毎に会場を分けることなく一堂に会して行われたことであった。そのため部門によっては討議時間が若干少くない感もなくはなかったが、全員が全部門討議に参加し、諸般にわたって勉強ができ、特に新入会員の教育に大きな効果をあげたことは成功であり、討議時間の少なさを内容の濃さで補い得たものといえよう。

冒頭、川瀬ガバナーは特にI.G.F.の語源を説明し、新入会員にI.G.F.の何たるかを認識させ、人間性の尊重とロータリーは吾々の生活そのものであり、本日の討論に依って参加した者が問題意識をもって、夫々のクラブに帰ることができれば大成功であると述べられ、参加者に多大の感銘を与えた。

丁度この日は田辺バストガバナーの誕生日に当り益々元気で、すべてはできる範囲でと強調され、無理をいましめ、自分の毎日が社会の為に何を果しているかを考えようと訴えて、参加した人の心に強くロータリアンとして反省する機会を与えられたことが注目された。

更に北野ガバナーノミニーの若さと卓越した弁論は会衆を魅了した。

かくして閉会の午後3時30分迄緊張とユーモアとが混在して時間の経過を忘れさせたI.G.F.は、次期ホストクラブを長野クラブと決定して散会した。

三河第一分区I.G.F.開催さる

日時 1980年 3 月23日(日) A M10:00

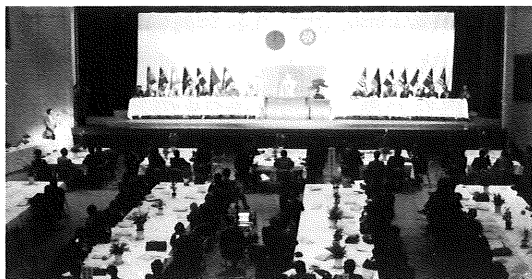
P M4:20

会場 田原町 華山会館(分科会)

総合体育館(全体会)

快晴に恵まれ、常春の渥美半島、田原町に於て、田原ロータリークラブのホストによってI.G.F.は盛会に催された。

参加者は、川瀬ガバナー、安野、森パストガバナー、福山地区幹事をはじめ、アドバイザー9名、リーダー及び登録会員総数235名。柴田分科会代理の企画により、新しい試みがなされ、午前中は八会場に分れての分科会、特に重点を新入会員部門に向けられた。午後は会場を移し、午前の勉強の疲れを休めるため、アトラクションとして郷土文化が紹介された。



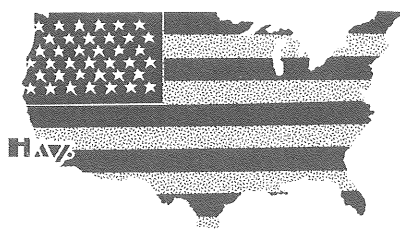
幕末の先覚者渡辺華山の劇「板橋の別れ」は、

約50年の伝統をもつものとして、田原中部小学校児童により上演され、一同深い感銘と感動を受けた。食事中に演ぜられた「祭囃」は古くから伝わる町の山車人形を飾り、笛太鼓の囃の音がお祭の楽しい光景を彷彿とさせるものであった。全体会議は、ホストクラブ内柴会長の歓迎の辞にはじまり、出席者が紹介され、川瀬ガバナー、柴田フォーラムリーダーの挨拶があり、分科会リーダーが各部会毎にそれぞれのテーマについて報告された。小憩後、新入会員の質疑応答が柴田分科会代理の司会で行われ、その内容は、古い会員もとなく忘れがちなことを掘り起すものとして目を見はるものであった。安野、森パストガバナーから、完璧な設営と運営は、相手の身になって考えるロータリー精神によるものと高く評価され、本日は出席しただけでも十分な価値があったと講評された。最後に川瀬ガバナーは、座右の銘としている商人八訓の作者華山の地は私の心の故郷である。参加会員の熱心な討議と、言いたいことを言い合う、和気あいあいの友情を作る場であったことの成果を話された。次期ホストクラブは豊橋南R.C.が指名発表され、短い一日行事の幕を閉じた。(文責真智哲夫)

北野ガバナーノミニ

国際協議会・国際大会出席日程

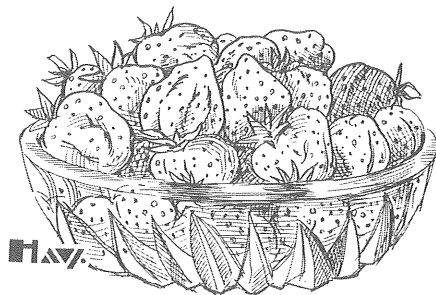
*Governor Nominee's schedule
of International Assembly at Boca Raton
and Chicago Convention*



5月17日(土)	11:38 長野発(あさま8号)	31日(土)	13:11 ニューオールリンズ発 (DL-262)
18日(日)	15:50 成田発(NW-004)		17:20 シカゴ着
	18:20 ニューヨーク着		
22日(木)	12:10 ニューヨーク発(NA-141)	6月1日~5日	国際大会出席(シカゴ)
	14:48 フォート・ローグデル着、 ボカラトン入	6日~9日	サンフランシスコ等経由 ロスアンジェルス入
22日~30日	国際協議会出席 (ボカラトン)	10日(火)	13:20 ロスアンジェルス発 (NW-21)
30日(金)	13:10 マイアミ発(DL-1122)	11日(水)	19:55 成田着
	16:30 ニューオールリンズ着		

ロータリー随筆

Essays on Rotary



R.I.75周年記念の 二つの特別例会に出席して

パストガバナー
佐藤 知雄

R.I.75周年の記念例会が各地、各クラブでそれぞれの趣向をこらして行われたことであろう。私は次の二つの特別例会に招かれて記念講演を行った。

まず、2月11日の午後1時から名古屋港湾会館の大講堂で開かれた名古屋港ロータリークラブの特別例会は、まことに立派であり、R.I.75周年記念事業としてロータリーを外部に向って大いにP.R.する意図がうかがわれた。総出席者は約300名で、警察署、消防署関係の職員が多数出席され、日頃のお骨折りに対し、感謝状と記念品がおくられ、またボーイスカウト、海洋少年団の指導者、団員も大勢出席されて記念品が贈呈された。また地域の婦人団体の会員を多数招待されて、婦人会の奉仕活動に対する感謝が行われた。

次いで私が最近のエネルギー問題と日本の立場について約40分の講演を行った。その後民謡などのアトラクションがあって、参会者を満足させた。

岐阜市内7ロータリークラブスの合同記念例会は2月23日、R.I.創立記念日の当日、岐阜グランドホテルにてロータリアン約500名が集合して、大いに氣勢をあげた。これは全くロータリークラブの内部に向って結束を固める意図がうかがわれた。来賓として出席され

た第263地区の山口ガバナーの祝辞と激励があった後、来賓の武藤農林大臣、上松知事、蒔田岐阜市長が述べられた祝辞はロータリー活動の盛んな岐阜にふさわしいものであった。ちなみに岐阜市は人口40万人に対して7クラブあることを特記しておきたい。その後45年間無欠席の遠藤会員に対する感謝状の贈呈があった。

私が1時間記念講演「日本の将来を想う」と題して語り、後、記念晩餐会が盛大に行われて午後6時頃散会した。



規定審議会について

パストガバナー
安野 譲次

今年は規定審議会のある年(3年ごと)です。その意味でもシカゴ大会は重要な大会です。

さて一般の会員の方々にはあまり興味のない事かも知れませんが少なくとも会長、幹事、各委員長の方々は注意をしていただきたい議案が顔を揃えております。

今年は105の議案が現在出ておりますが、このうちで最も出題の多いのが出席に関するもので23件、次は会員に関するものが22件、R.I.運営に関するものが18件、クラブ運営に関するものが11件となっていて、面白いことに第

1の出席に関する議案にはR.I.提出のものは1件もなく、それに反して会員に関するものは5件もあります。その中には今年の規定審議会の目玉になりそうな女性会員導入の問題が理事会の他に13クラブの共同提案として出ていることです。前回のサンフランシスコ大会迄毎回提案され、簡単に否決されていたこの問題が今回は理事会が筆頭提案者となってその姿を現わした事に対し私は時の流れをつくづく感ずるのです。(80-50)

出席問題はローターアクトクラブの会合に出席した場合、出席と認めよと云うものが多くインターアクト、ローターアクトの活動に関心が高くなってきた事を示すものでしょう。(80-73. 74. 75. 83.)

又、理事会提出(80-60)の会員の種類を名誉会員と一般会員の2種類にして同じ職業分類を5名迄とし、その比率が全会員の10%とするという事は大変簡単になってよい点もありますが、もう少し研究が必要であるような気がします。

今年1月に神戸で催された第8回ロータリー研究会のシンポジウムで「ロータリーは精神主義か行動主義か」という問題に対して入江P.G.は、ロータリーは手続が多すぎる。これは指導精神がうすれた為であろうと云われ、思索もまた大きな行動であるという説に私は多くの共感を覚えたものでした。

何故ロータリーを精神主義とか行動主義とかに分けなければならないのでしょうか。

ふと私は寂しくなるのでした。



ロータリーは精神主義か行動主義か

バスターガバナー

森 泰 樹

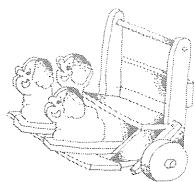
今年のロータリー研究会は1月26、27日の

両日神戸で開かれた。色々の情報交換、R.I.プロジェクトの検討の他に研究会には年々に討論が用意される習しである。今年は平島P.G.の発案で表題のようなシンポジウムが行われ、近來にない熱のはいりようで満堂の喝采を博した。それもその筈、発言者は前R.I.副会長の湯浅恭三氏、私が職業奉仕のバイブルと唱えている「ロータリーで言う職業奉仕」という名著の著者神守源一郎氏、又、昨年英国の2-3の地区大会を日本人として始めて会長代理を勤めた入江直祐氏等の錚々たる顔ぶれであったからである。その日のディスカッションを私なりに纏めて報告したいと思う。

75年前の2月23日に4人の職業人がシカゴ、デューボアン街ユニティビルの711号室に集った時は、それはお互いの親睦以外の何物でもなかったと思われる。洋服が入用の時にはショールの所で作ってやろうじゃないか、石炭がある時にはジルベスターの店で買ってやれ、困った事が起ったらポールに聞けばいい位の極めて次元の低い、いわば相互扶助的のものに過ぎなかったと思われる。ここでもポールだけは既に精神的要素を多分に持っていたものと思われる。それは彼がニューイングランドという敬虔(けいけん)な清教徒の地で育てられたからで、彼はそのことを「My Road to Rotary」の随所に書いている。ポールはこの思想を表に出さずして数年が過ぎた。それが1911年ポートランドの大会でA.F.SheldonがHe profits most who serves bestと叫び、F.CollinsがService above selfを唱えたことによって、いよいよロータリーの精神主義が確定的なものになってゆく。全てのものが弁証法的展開を示す如く、このロータリーの精神主義に飽き足らずして1917年Merbin Georns氏がLions clubを作ることになるのである。

山高きが故に貴からず、花多きが故に美ならず、ロータリーの奉仕は據出する金の多きを誇るにあらずして、各人が示す奉仕への心の深さをこそ基とすべきであるという確信を

得て帰って来たのである。



ミシガン湖畔の夕映え

バスターガバナー
山 田 市三郎

ありし日のミシガン湖畔の夕映えに
ものを思いしわれにありしか

私は昭和4年、シカゴ市を訪れました。そしてミシガン湖の雄大な美しさに魅せられました。その後2度同市を訪れ、郊外のエバンストンに假寓していた三男のマンションをたずねて、湖畔を散歩し、かわらぬ詩情ゆたかな風景をこよなく愛しました。丁度ロータリーの本部が、マンションの近くにあったのも不思議なご縁でした。緑したたる森の中にあり、教会のように静楚な建物でした。辺りの草原にはリスが見られました。



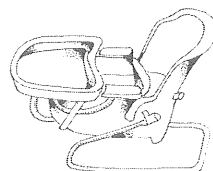
1975年6月7日ミシガン湖畔にて

ポールP.ハリスが、ロータリーを創立されてから、丁度、本年で75年、シカゴでこれを記念して国際年次大会が開催されます。

今やロータリーは154の国家及び地域、クラブ数18,446・会員数853,000人に及ぶ大奉仕団体に発展し、なお益々拡大しつつあります。

ニューイングランドのウォーリングフォードの美しい渓谷、清い溪流、緑したたる森、遙かにベアー山脈を眺める。麓に牧野が広がって、牧牛は三々五々草を喰む。森につづく林の中には畑が点在する。美しい小鳥の声、

澄める大空、自然は汚されず、住民は隣人愛に富んで、争の声も聞かれぬ平和な静かな郷、なごやかな住民の気風、そして特に祖母の性質が、ポールP.ハリスに美しく尊い性質を賦与いたしました。そこにイエスキリストの心霊を心とした、ポールP.ハリスが生まれ、友愛と寛容とを根本精神とするロータリーが誕生したのです。そして一つの小さい種子が、世界をおおう巨大な樫の木に育ったのです。悠久な人類の歴史に比ぶれば、ロータリーの75年の歴史は余りにも短いのです。世界はめまぐるしく変化します。ロータリーの歴史の最高の部分は、限らない未来にあって、短い過去にはありません。輝かしい未来の広大無辺なる歴史をつくろうではありませんか。



この一年

直前ガバナー
田 辺 三 郎



ガバナーの任務を終えて9ヵ月、忙しかった1年間を振り返って感慨無量である。本当によく動いたものと思う。といって今が暇で困っているというのではない。ロータリー以外にも多くの活動の場を見出しているからである。

それは別として、今年受け持った地区職業奉仕委員会のうち職業別委員会は委員長始めよく計画を実施して頂き、12月の税理士部会を終え、さらに5月に油配布部会を開く手筈になっている。処世情報委は名前の解釈が難しく何をやるべきかに迷ったが入手し得る資料から奉仕事例集の作成を計画している。

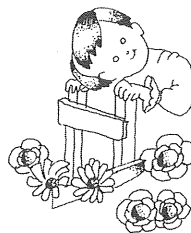
もう一つの仕事、職業分類委員会では1980年版対訳表の作成を企画し、安野譲次委員長指導の下に作業に入り既に1年を経過した。

人の作ったものは欠点ばかり眼に付くがさて手を付けて見ると大変な仕事であった。ちょうど泥沼に踏込んだ形で後にも前にも進めず、途中でこれが役に立つであろうかと考え込んでしまうこともしばしば。しかもこれは大勢でやれる仕事ではなく何とか独りでまとめた見た。清書、タイプ、英訳と社の連中にも随分世話になった。公式訪問でやかましく言った手前、自分なりに努力しなければと思ってきた。

恐らく R.I. のこれからの様相はシカゴの規定審議会に出されている100余の議案から会員の職業分類制度始め安易の方向に赴くと思われる。私はロータリーの根底が覆されることを

恐れる。あるいは分類表の存在が重要視されぬ時代が来るかも知れない。

4月の配布の暁には恐らく各地、各職業の方から沢山の意見が寄せられるであろうがそれが次回作成の大きな基となることを信じている。ともかく、分類表の作成に明け暮れた1年であり、ロータリーの75周年は自分にとっても記念すべき年となったのである。



各クラブ幹事および次期幹事の皆様へお願い *To each club's Secretary and Candidate for Secretary*

地区幹事
福 山 巧

■現幹事の方へ

- ① 6月までの後半期は駄足のように時は過ぎてゆきます。あなたのクラブで未着手の事業があれば、出来るだけ早く実行して下さい。
- ② 今月、次年度の会長・幹事会がありましたし6月には地区協議会が開催されます。これらは決して次期の方々だけの会合ではありません。この時からあなたと次期幹事の方とは引継ぎを兼ねて指導や助言が始まります。緊密な連携をお願いします。
- ③ 今月に入ると次期幹事は1980～81年度の事業計画書の作成にかからねばなりません。あなたの仕事として相談、指導に当たして下さい。
- ④ 6月になれば、本年度の理事会記録、クラブ事業活動記録の整理編集にかかって下さい。そうして本年度が終り次第印刷製本配布保管をお願いします。
- ⑤ 6月には次年度のクラブ役員の人事、諸行事および業務の引継ぎを完全に終えて下さい。

■次期幹事の方へ

- ① あなたは次期の会長とクラブ事業について

て親しく話し合いの上、意思の決定を図られるようお奨めします。

- ② 今月からは現各委員と次期各委員とのファイアースイドミーティングを開催し、各委員会の次期活動計画のアウトラインの策定または継続事業などの検討をして下さい。
- ③ 5月には各委員会から事業活動計画案の提出を求め、会長と共に検討をされて編集の用意をお願いします。
- ④ 6月に入れば、1980～81年度のクラブ事業活動計画書の編集、仮印刷にかかって下さい。
- ⑤ 6月の引継ぎ会の席上において最終の引継ぎを完了、その後再校正、本印刷、製本へと手順にお取運び願います。
- ⑥ クラブ事業活動計画書はガバナー公式訪問用のものではなく、また新年度に入ってからで作成ではいけません。

以上の手続きによりまして年度の第1回例会には出来上っており全会員に配布され、それによってクラブが運営されてゆくべきものです。

以上何卒よろしくお願いをいたします。

雑誌週間について(4月20日～26日)

*The Rotary's
Magazine Week*

4月最後の1週間、即ち4月20～26日はロータリーの雑誌週間で、クラブはこの週間に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。

従来はロータリーの機関誌はThe RotarianとLevista Rotariaだけでしたから、雑誌週間の「雑誌」とは正式にはこの両紙に限られていました。しかし、日本の実情から「ロータリーの友」もこの週間の対象としてきたのが大部分であったと思われます。

ところが、昨年の7月から「ロータリーの友」が国際ロータリーの指定するThe Rotarianの記事を掲載することを条件として、国際ロータリーの公式地域機関誌として認められるための1年間の試験期間に入っています。従って来年度からは「ロータリーの友」も正式に雑誌週間の対象になりましょう。

また「ロータリーの友」の英語版である、ROTARY-NO-TOMOに対する関心も深めたいものです。

なおザ・ロータリアン誌は1911年にザ・ナショナル・ロータリアンとして創刊され、今や購読者数はスペイン語の姉妹誌前記レビスタ・ロータリアと合せ50万部に達しています。こうした機関誌はロータリー情報の資源となり、広報の貴重な用具となつて、また全ロータリアンを結ぶものと事務総長も強調しています。

各クラブにおかれてはこの週間を機に意義ある企画を実施されることを期待します。

(注)雑誌週間に因み、スライドセット「ザ・ロータリアン：善意の歴史」(第4450号)が中央事務局から購入できます。またザ・ロータリアン誌創立75周年記念増刷号が1部米貨1ドルで中央事務局へ注文できます。

地区ニュース DISTRICT NEWS

名古屋クラブ創立55周年記念例会

名古屋としては珍らしく大雪の降った2月19日に当地区最初に設立された名古屋R.C.の55周年記念例会がR.I.75周年記念をも兼ねて開催されました。

クラブとしては55周年の記念日ではありませんが、力をR.I.75周年記念事業の方に集中してクラブの創立記念の方は大袈裟に亘らず記念の例会として、できる丈簡単な内祝の企画でした。それでも既報記念事業の先でもあります名古屋市東山総合公園植物園長、坂梨一郎さん初め名古屋11R.C.の方々も来賓としてご参加願ひ、沢山のビジターの参集もあって盛会裡に、記念行事の各種目録および記念品等の贈呈、来賓及び役員の挨拶並びに経過報告と進行して、最高の盛り上がりとなり、立食

パーティではありましたが、近藤P.G.の音頭で一同乾杯、なごやかな親睦の中に創立記念の喜びを祝い合いました。

岡谷クラブ創立20周年記念式典

永年地域社会に尽力し奉仕と友情の輪を拡げてきた岡谷クラブの20周年記念式典はR.I.75周年記念を兼ねて2月23日午後1時からホテル岡谷で行われ、会員とその夫人、来賓として参加の市(武井助役)商工会議所(小口賢一副会頭)、ならびに創立当初に尽力されたR.C.関係者を含めて約130名が出席した。思えば昭和35年の今日24名のメンバーで発足以来の地域密着奉仕活動の業績を顧みて感激にたえない。河西会長は「関係者の皆様の絶大な協力をいただき満20周年を迎えられたことはロータリアンにとって大きな喜びです。今までの足跡の上にさらに発展するよう頑張りたい」と挨拶した。このあと物故会員20人への黙禱、記念事業としての350万円相当の時計台

の目録が岡谷市武井助役へ手渡された。時計台は高さ7.5米、赤の御影石の台座にポールが立ち最上部に三面の時計がつけられ、文字盤の周囲は市章がデザインされた立派なもので3月末までに市役所前の蚕糸公園に設置される。

南佐久クラブ 5 周年記念祝典

創立記念式典は初めてであり、且つはR.I. 75周年のお祝いを兼ねて2月19日(火)、午後1時より小海町公民館で行われましたが当日かなりの降雪にもかかわらず会場は祝賀ムードで一杯、近隣の上田、上田東、丸子、小諸、軽井沢各R.C.の会長ないしは代表の方々の参加を得て、その熱気は場内溢れるばかりでした。祝賀式には記念品贈呈、各種表彰、更には域内町村に大時計ないし演壇ならびに交通安全標語塔6基贈呈など記念事業を折込み、式後の祝宴は内輪の会員夫人と、家族の余興も盛込んで、総ぐるみの楽しい祝賀会となり、更に明日への奉仕の推進をお互いに誓い合いました。

一宮R.C.創立30周年記念式典

2月23日は、ロータリー創立記念日にあたり、時を同じく、R.I.創立75周年と当一宮R.C.創立30周年記念式典を、一宮市長を始めとし川瀬ガバナー及び鈴木分区代理並びに国際留学生を迎えて、質素ながら記念式典を挙行政致しました。

一宮R.C.は、昭和24年11月7日の創立で戦後の創立クラブの中では第1号であり、日本のR.C.の中では第38号にあたります。

その古い歴史と伝統を持つ当クラブの創立30周年記念式典は、松永登会長の点鐘にて式典が始まり、チャーターメンバー及び最高年令メンバーに記念品を贈呈、そして来賓の方々により御祝詞を賜りました。記念事業としてロータリー財団に30周年に因んで30万円を寄附、一宮地域職業訓練センターに壁画を贈呈、又「私の職業奉仕」なる小冊子を発刊し、その企画は日本にはまだ類例がないと川

瀬ガバナーよりお褒めを頂き、当クラブの誇りとするところです。式典は厳粛の中で行なわれ少憩の後、祝宴に入り会員による余興、一宮市民吹奏楽団による演奏など、終始リラックスなムードのうちに衍なわれ、最後にR.ソング「手に手をつないで」を合唱して長時間に亘るすべての行事を終えました。



■地区資金委員会開催

去る3月4日(火)、12:00~15:00、中京相互銀行本店において、松井現委員長を初め、高沢、藤井各委員、ならびに福山現地区幹事、三木現会計長、および若麻績次期地区会計長が参集して、本年度上半期の地区資金財政状況の監査および次年度地区資金予算案の検討を行いました。

伊那クラブ20周年記念式典

創立20周年記念式典は3月6日、伊那市別館だるまにて盛大に挙行された。式典は1009回目の例会を行ったあと、藤沢委員長の開式で始め荒木会長の挨拶、来賓及びビジターの紹介があり、物故会員追悼黙禱、百瀬実行委員長の挨拶に続いて記念事業の発表を行ない、目録贈呈及び各種表彰を行った。財団及び米山記念奨学金へ各10万円宛寄付、中でもポール・ハリス・フェローが一挙14名は特筆すべきもので、また530運動に関する贈呈品及びこれに関連して清掃に精励した児童表彰は清々しい善行である。委細は地域新聞にも詳しく報道された。

来賓祝辞をもって式典を終り、川瀬ガバナーによる「日本民族の誇りと自戒」と題する講演は全出席者を魅了、引続いて祝宴パーティにうつった。なお20周年記念誌は5月に刊行する予定である。

■チャーターナイトご案内

今期輝しく発足いたしました各新クラブのチャーターナイトは下記によって盛大に開催されます。皆々様、挙ってのご参加を心から期待します。

○名古屋瑞穂クラブ (052-221-6533)

5月10日(土) 13:00~17:30

於: ホテルナゴヤキャッスル

○塩尻クラブ (02635-2-6900)

5月11日(日) 10:00~15:00

於: 塩尻市市民会館

○半田南クラブ (0569-21-0311)

6月14日(土) 12:00~15:00

於: 愛知県半田労働福祉会館

○伊那ローターアクトクラブ

6月15日(日)

開催場所及び時間は次号にてご案内します。

■第6回地区諮問委員会開催

日時 昭和55年3月14日(金) 11:30~15:00

会場 名鉄グランドホテル

出席 近藤、滝沢、伊藤、佐藤、安野、鮎谷、山田、藤原、森、田辺、各P.G.、川瀬G.、北野G.N.、福山D.S.、鈴木次期D.S.候補

議題

- (1) 1980~81年度地区組織案について。(決定)
- (2) 1980~81年度地区予算案について。(決定)
- (3) 地区新年度、会長・幹事会(愛知・長野)開催について。
- (4) 75周年記念奉仕活動賞申請について。
- (5) 3-Hクラブ活動賞申請について。
- (6) 本年度地区協議会(ホスト:刈谷R.C.)及び来期年次大会(ホスト:長野東)準備状況について。併せてそれぞれ翌期ホストクラブについて。
- (7) 財団奨学生及び米山奨学生について。
- (8) 新設クラブチャーターナイト等について。
- (9) 伊那ローターアクトクラブ新設について。
- (10) オン・ツー・シカゴ現状報告。
- (11) その他。
- (12) 次回開催日について。(6月21日)

■地区協議会アドバイザー決る。

去る3月14日の諮問委員会において、本年度地区協議会の各分科会アドバイザーが次の

とおり決定しました。

会長部会 加藤直一郎G.N.

幹事部会 滝沢卓夫P.G.

クラブ奉仕部会 山田市三郎P.G.、藤原正男P.G.

職業奉仕部会 神野太郎P.G.、田辺三郎P.G.

社会奉仕部会 近藤友右衛門P.G.、原享二P.G.

青少年奉仕部会 佐藤知雄P.G.、安野謙次P.G.

国際奉仕部会 鮎谷賢太郎P.G.、森泰樹P.G.

おめでとうございます
ポール・ハリス・フェロー
New Paul Harris Fellows

2月5日 山田高久君(奥三河) 2月20日 大井次次郎君(木曾)

3月5日 遠藤正夫君(岡崎南)

米山奨学会特別寄付報告

Contribution to Yoneyama Memorial Fund

2月1日	東知多R.C.	8,000円
"	服部昭二君(津島)米山功労者	300,000円
2月2日	飯島R.C. 1名	50,000円
"	小牧R.C.	100,000円
2月5日	岡崎東R.C.	4,665円
"	岡崎東R.C. 1名	10,000円
2月9日	富士見R.C. 1名	50,000円
2月13日	奥三河R.C. 1名	50,000円
2月16日	名古屋東R.C. 1名	30,000円
2月19日	岡崎R.C. 3名	140,000円
2月20日	岡崎南R.C. 2名	50,000円
2月21日	豊橋R.C. 4名	110,000円



3 H運動寄付金報告

Contribution to 3H Movement

2月8日	新城R.C.	¥ 5,000
2月28日	西春日井R.C.	¥ 376,300
3月5日	一宮R.C.	¥ 300,000

訃報 Obituary

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

2月28日	飯田 茂 殿(あま)
2月29日	仙田 藤助 殿(犬山)
3月1日	矢島栄一郎 殿(伊那)
3月15日	徳田安儀 殿(松本)
3月16日	広瀬大祐 殿(名古屋)

55年3月度 分區別会員数及び出席率

Attendance Report of March 1980

昭和55年3月31日現在

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半田	39	59	98.72	3	58	+1
	半田	30	31	99.19	4	—	+31
	東知多	56	43	97.67	5	43	0
	名古屋	75	223	94.01	4	224	-1
	名古屋	45	88	98.61	5	89	-1
	名古屋	24	105	99.53	4	103	+2
	名古屋	1	43	100.00	4	43	0
	名古屋	44	116	98.62	4	115	+1
	名古屋	27	111	99.34	4	112	-1
	名古屋	1	42	100.00	3	34	+8
	名古屋	18	76	99.73	5	76	0
	名古屋	35	94	98.91	5	93	+1
	名古屋	33	137	98.97	3	138	-1
	名古屋	30	82	99.19	3	82	0
	名古屋	1	67	100.00	4	66	+1
	東海	65	46	96.20	4	45	+1
	常滑	60	58	96.93	4	58	0
17C			1,421	98.56		1,379	+42
尾 張 第 二 分 区	あま	19	72	99.72	5	72	0
	尾宮	47	52	98.43	5	52	0
	一宮	36	88	98.84	5	89	-1
	一宮	43	76	98.67	4	75	+1
	稲沢	64	53	96.23	4	53	0
	犬山	1	69	100.00	4	70	-1
	岩倉	1	33	100.00	3	33	0
	春日井	1	77	100.00	4	78	-1
	小牧	53	58	98.28	4	58	0
	江南	25	60	99.44	3	60	0
	名古屋	40	62	98.71	5	63	-1
	西春日井	34	70	98.93	4	70	0
	尾張旭	1	46	100.00	4	46	0
	瀬戸	28	70	99.29	4	70	0
	瀬戸	63	42	96.43	4	42	0
	津島	38	71	98.79	4	71	0
16C			999	98.86		1,002	-3
三 河 第 一 分 区	渥美	49	47	98.40	4	49	-2
	蒲郡	52	69	98.29	5	68	+1
	奥三河	69	46	95.00	5	47	-1
	新城	36	43	98.84	4	43	0
	新田	22	61	99.59	4	60	+1
	豊橋	1	106	100.00	3	105	+1
	豊橋	29	99	99.20	4	98	+1
	豊橋	26	66	99.39	5	66	0
	豊橋	50	67	98.36	4	67	0
	豊川						
9C			604	98.56		603	+1
三 河 第 二 分 区	安城	46	67	98.51	4	67	0
	城南	1	67	100.00	4	67	0
	一色	67	52	96.15	4	53	-1
	刈谷	42	77	98.70	5	77	0
	西谷	61	72	96.65	4	73	-1
	岡崎	48	84	98.42	4	85	-1
	岡崎	40	55	98.71	3	55	0
	岡崎	59	69	97.14	4	69	0
	高浜	51	47	98.32	4	47	0
	豊田	20	91	99.62	3	91	0
	豊田	21	56	99.60	5	56	0
	豊田						
11C			737	98.34		740	-3

分 区	クラブ名	順 位	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
東 北 信 分 区	軽井沢	1	39	100.00	5	39	0
	小諸	70	58	94.83	4	58	0
	丸子	83	33	88.88	3	33	0
	南佐久	68	32	95.15	4	32	0
	長野	65	80	96.20	4	80	0
	長野	62	71	96.63	4	70	+1
	中野	55	47	97.88	3	47	0
	佐久	82	35	89.52	3	32	+3
	須坂	79	33	90.28	4	30	+3
	戸倉上山田	80	41	90.24	4	41	0
	上田	74	52	94.22	5	52	0
	上田	1	42	100.00	4	42	0
12C			563	94.48		556	+7
南 信 第 一 分 区	富士見	81	30	90.00	3	30	0
	白馬	58	39	97.44	4	37	+2
	木曾	77	47	92.28	4	47	0
	松本	23	71	99.54	3	72	-1
	松本	1	80	100.00	5	82	-2
	松本	54	41	98.17	4	41	0
	岡谷	76	64	93.24	4	64	0
	大町	78	63	92.06	4	63	0
	塩尻	1	29	100.00	4	27	+2
	諏訪	73	60	94.24	4	60	0
	諏訪						
	諏訪						
10C			524	95.69		523	+1
南 信 第 二 分 区	飯田	57	69	97.52	4	69	0
	飯田	1	71	100.00	4	70	+1
	飯田	1	35	100.00	4	35	0
	伊那	32	73	99.05	3	75	-2
	駒ヶ根	1	64	100.00	5	64	0
	松川	71	44	94.70	3	44	0
	箕輪	72	31	94.35	4	31	0
	辰野	1	49	100.00	4	50	-1
	辰野						
	辰野						
8C			436	98.20		438	+2
総計	83クラブ		5,284	97.62		5,241	+43



■役員変更ご案内

○伊那ロータリークラブ

別項の計報にありますように矢島栄一郎幹事が
お亡くなりになりましたので新幹事として北原
謙二氏が就任の旨連絡がありました。同氏は山
大伊那商事勤務(02657-2-7151) 自宅は伊那市
城南町(02657-2-3387)です。

○一色ロータリークラブ

現会長の梶川政雄氏が一身上の都合で退会され
ましたので、前会長でした鈴木宣夫氏が新会長
に就任されました。

氏は(株)鈴木製油社長(05637-2-7138) 自宅は愛知
県幡豆郡一色町亥新田(05637-2-8309)です。